

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト留置後のエンドリーク評価における MRI の有用性の検討

◆ 研究の対象となる方

当院にて腹部大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術(EVAR)を受け、術後に 2020 年 4 月～2025 年 12 月の間に MRI 検査を受けられた方

◆ 目的・方法

本研究は、EVAR 後に生じるエンドリークの評価における MRI の有用性を検討することを目的としています。診療記録および画像情報を後方視的に収集・解析し、造影 CT 所見や瘤径変化、予後との関連を検討します。追加の費用は発生しません。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、診断・治療内容、造影 CT・MRI 画像所見、瘤径の経時的変化など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 放射線科 村山僚 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	---

以上